

取組事例 産業競争力を高め、地域ブランド力を向上

(伊達市)

伊達市では、多品種・多品目の高品質な「伊達野菜」のブランド化を図り、市民が一体となって気運の醸成を図り、新規就農者の受入体制を推進するなど、持続可能な農業の実践を図っている。

関連数値目標・KPI

	基準値 (H26)	実績 (R元)	目標値 (R元)	進捗率 (%)
市民向け館野菜講座の開催件数	—	36件	20件	180%
農業研修参加者数	—	8人	7人	114.3%

取組の推進体制

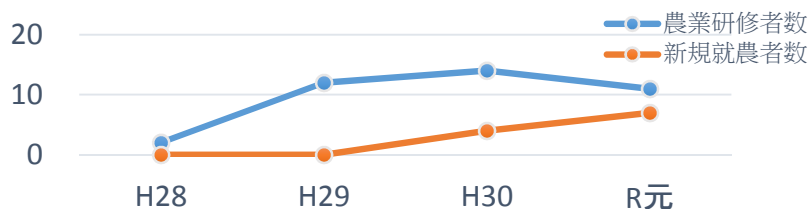
●伊達市農業担い手育成センター

市役所、農業委員会、胆振農業改良普及センター、J A伊達市、J Aとうや湖、指導農業者の代表者から構成され、適切な役割分担の下、官民の連携により新規就農の受入推進と新規就農者のフォローを効果的に実施。

●北海道伊達市の農業パワーアップ推進協議会

市役所、だて観光協会、伊達商工会議所、J A伊達市、J Aとうや湖、伊達観光物産公社から構成され、官民挙げて伊達野菜のブランド化と知名度向上を図るための取組みを行っている

新規就農者数の状況



農業研修受講者が着実に新規就農に繋がっている

取組事例 認知度向上と新規就農者の受入推進

市民の伊達野菜の認知度向上

○主な取組

- ・市民を対象とした野菜を使った栄養教室の開催
- ・野菜を使ったメニューを提供する飲食店の募集

伊達野菜
MADE IN HOKKAIDO



○主な成果

- ・栄養教室等を106回開催
- ・伊達ベジファーストプロジェクトとして延べ57店舗 (H28～R1) が伊達野菜を食前に提供



新規就農者受入推進

○主な取組

- ・農業研修生に対する給付金の支援制度を新設
- ・農業研修生を指導する農家にも指導に係る諸経費を支援する制度を創設

○主な成果

- ・新規就農者数 : 11人 (H28～R1)
- ・新規就農相談者数 : 116人 (H28～R1)

